

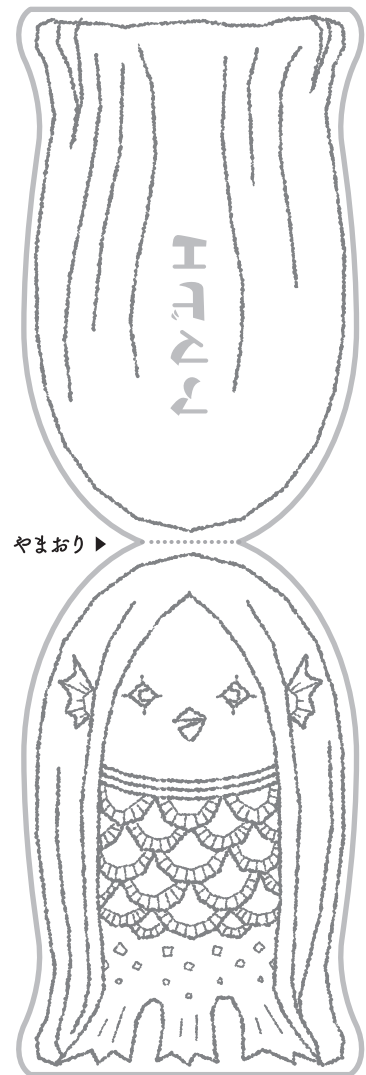
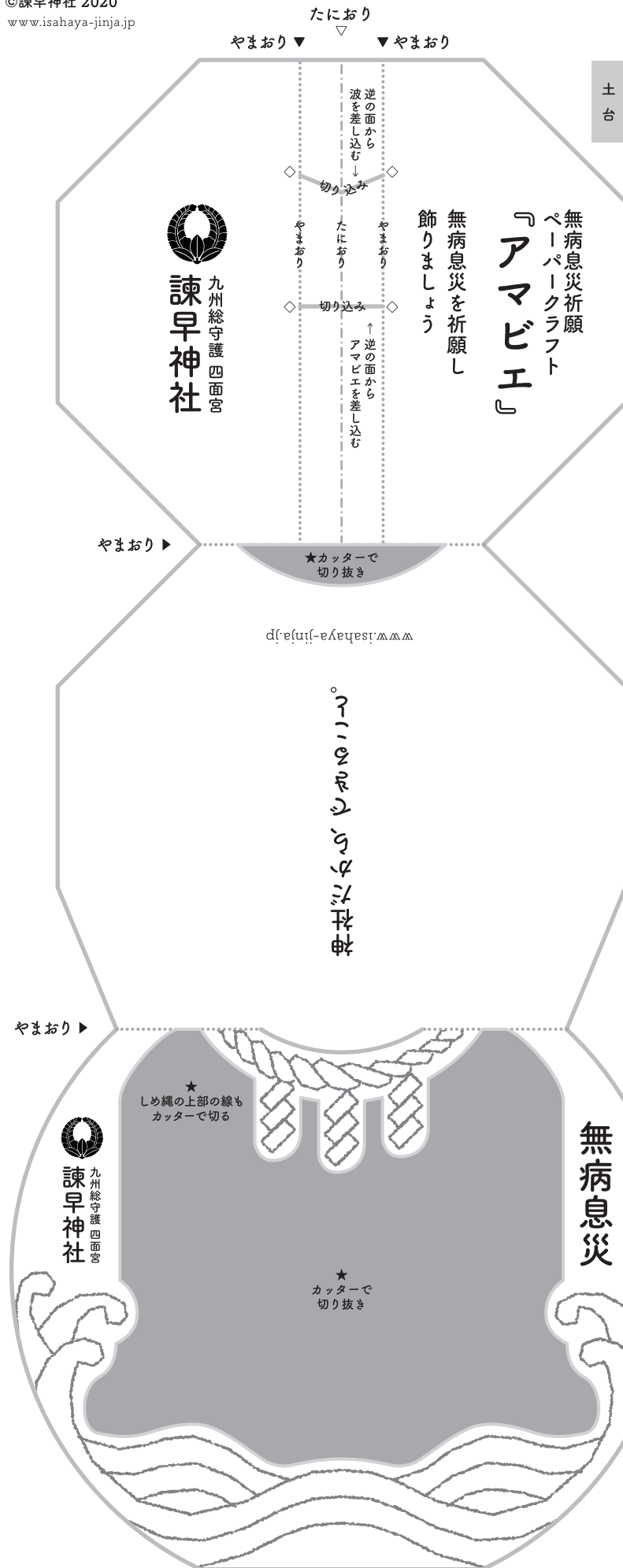
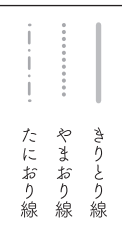


●準備するもの／色鉛筆、カッター、はさみ

- ① いろいろぬり面の色をぬる
- ② 灰色(★カッターで切り抜き)の部分切る
- ③ まわりの「きりとり線」をはさみで切る
- ④ 土台の切り込みを2箇所いれる
- ⑤ やまおり線・たにおり線にしたがって点線を折る
- ⑥ アマビエの内側に自分の名前を書き、組立てて完成
- ⑦ 完成したら、写真を撮って、ハッシュタグ「#わたしのアマビエ」でSNSにアップ！無病息災の祈りを広げましょう！



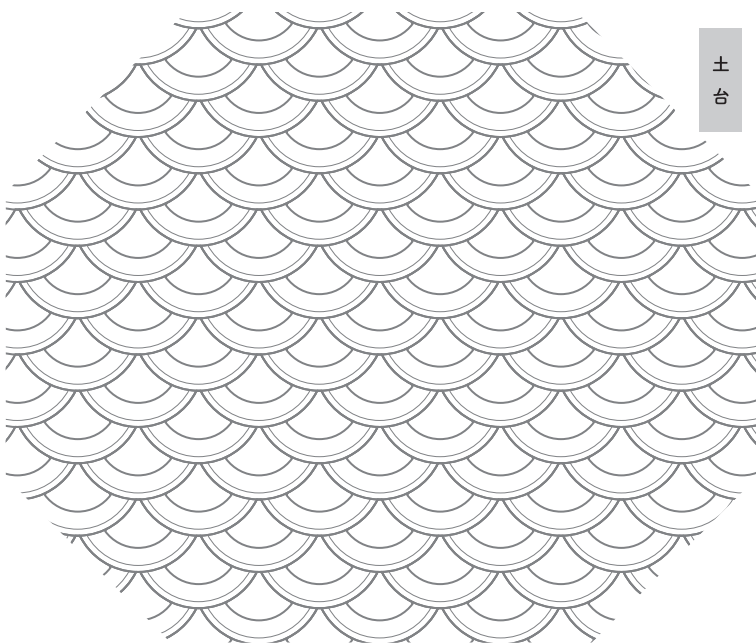
土台



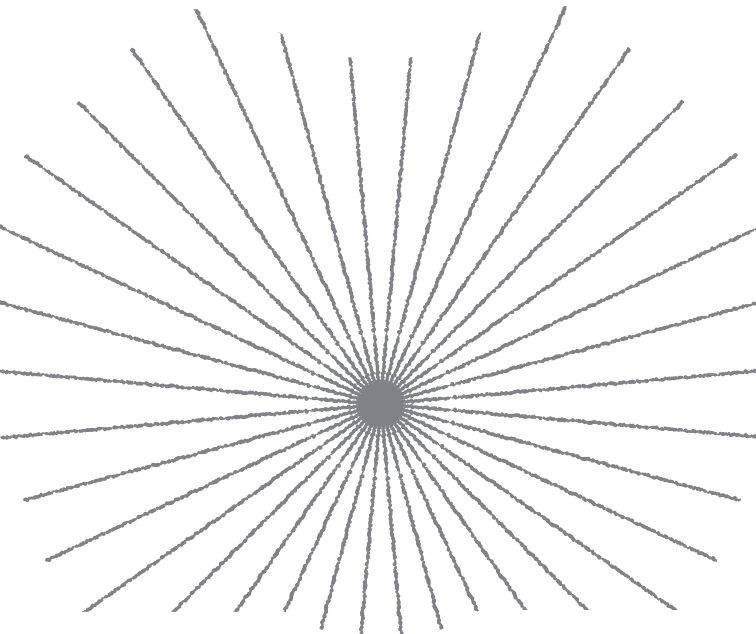
いろいろぬり面

いろいろぬり面

土台



◀ いろぬり面／うみ



◀ いろぬり面／ひかり

◆アマビエとは

日本に伝わる妖怪。光輝く姿で海中から現れ、豊作や疫病などの予言をすると伝わっています。

その姿は人魚に似ていますが、口はくちばし状で、目は菱形、黒目と白目があり、耳らしきものあり。体はウロコに覆われていて足は3本という特徴があります。

江戸時代の肥後国(現・熊本県)のお話。当時の文獻に、毎晩のように海の中で光るものが出没するため、役人が向かったところ、アマビエが現れたという記録が残っています。

アマビエは、役人に対して「私は海中に住むアマビエと申す者なり」と名乗り、「当年より6ヶ年の間は諸国で豊作が続くが疫病も流行する。私の姿を絵に描いて人々に見せよ」と告げたとされています。

(出典 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ)

◆諫早神社

長崎県の神社。もともと諫早神社は「四面宮」と言って、九州総守護の神社です。また、健康や病氣平癒の御利益で知られる神様をおまつりしています。その尊き御神徳は、これまで本や雑誌などでも紹介されてきました。

アマビエは九州に現れた疫病退散の妖怪。そして、諫早神社は九州総守護の神社であること、健康の御利益で知られていることから、今回「無病息災」の祈りを込めたアマビエのクラフトぬりえを配布することになりました。諫早神社では疫病退散の神事を行い、無病息災の祈りを捧げています。

◆アマビエのクラフトぬりえ

皆さんお一人お一人の手で、ぬりえを完成させて、アマビエに命を吹きこんでください。無病息災の祈りの輪が広がっていくことを願っています。

九州総守護 四面宮 諫早神社

